**平成２７年度　国際情報発信強化　計画調書**

【両面印刷】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | 〒　　　　－ |
| 1審査希望分野 | □ 人文・社会系 |  | 2　応募団体　 所 在 地 |  |
| □ 理工系 |  | 3　応募団体　 名　称 |  |
| □ 生物系 |  | ふ り が な |  |
|  | 4　　応募者　 職名・氏名 |  | 印  |
|  |  |  | 5　連絡・照会先　電話 | （　　－　　　　－　　　　　　内線　　　　　） |
|  |  |  | ＦＡＸ | （　　－　　　　－　　　　） |
|  |  |  | e-mail | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |  |  | ふ り が な |  |
|  |  |  | 所属・職名・氏名： |  |
|  |  |  |  |  |
| 6　 取組の名称　 |  |
| 7　学術刊行物の名称 |  |
| 8　応募区分 | □　国際情報発信強化（Ａ）　□　国際情報発信強化（Ｂ）　□　オープンアクセス刊行支援 |
| 9　重複応募の有無 | □　有□　無 | 「学術定期刊行物」又は「国際情報発信強化」 の継続課題の課題番号 |  |
| 10 単年採択の有無 | □　有□　無 | 単年採択課題の課題番号 |  |
| 　 （オープンアクセス刊行支援を選んだ場合に記入。）11　将来オープンアクセス刊行を予定している時期又は、既にオープンアクセス刊行している場合はその時期　 | 平成　　年　　月 |
| 12　種別 | □　種別Ⅰ（英文率１００%） 　 □　種別Ⅱ（英文率１００％未満） |
| 13　「種別Ⅰ」を選んだ場合で、英文以外の外国語の場合、使用する言語及びその理由 |
|  |
| 14　国際情報発信強化の取組の概要 |
| 本欄には、取組内容の特徴と目的、意義及び方法について、今回の取組における新たな点を、これまで行ってきた取組を踏まえつつ明確に記述して下さい。前年度以前に単年で採択された実績がある場合には、当該補助事業においてどのような取組をしたかについて併せて記述してください。 |
|  |
|  |  |  | \*受付番号 | \* |

|  |
| --- |
| 15　国際情報発信強化の取組の目標・評価指標 |
| 本欄には、国際情報発信強化に係る取組の全体構想及び具体的な目標設定について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述してください。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。　➀　応募時点での学会の国際情報発信の現状。➁　助成期間内に何をどこまで強化しようとするのか。上記について評価指標を含め具体的な目標を設定し、数値等で表わせるものについてはその数値も併せて記述してください。 |
| 取組目標（概要） ※当該取組の目標について簡潔にまとめて記述して下さい。 |
|  |
| 取組目標(詳細) |
|  |

|  |
| --- |
| 16　国際情報発信強化の取組の実施計画・方法 |
| 本欄には、国際情報発信強化の目標を達成するための取組内容について、具体的に各年度の実施計画・方法を記述してください。　また、刊行体制を強化する等の取組を行う場合については、全体像を明らかにするため、組織図を用いて、必要に応じ役割や員数を記述する等、具体的に記述してください。　なお、複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合は、どのような協力体制をとっているのか具体的に記述してください。 |
|  |
| （複数の学術団体等で協力体制をとって国際情報発信強化を行うための取組を行う場合の、団体名と団体数）（計：　　　団体） |

|  |
| --- |
| 17　新たな取組の準備状況 |
| 本欄には、新たな取組の準備状況を具体的に記述してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 18　重複応募をしている取組内容との相違点 |
| 本欄には、重複応募した取組内容とどのように違うのか、具体的かつ明確に記述してください。 |
|  |
|  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 19　補助要求額 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 明　　　　　細 | （１） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （３） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （４） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （５） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （６） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （７） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （８） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （９） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１０） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１１） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１２） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１３） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１４） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１５） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１６） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１７） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１８） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （１９） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２０） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２１） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２２） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２３） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２４） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| （２５） | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |

|  |
| --- |
| 20　補助要求額の妥当性・必要性 |
| 「国際情報発信強化の取組の実施計画・方法」で述べた、取組内容に基づき、前ページに記述した要求額の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。 |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 21　　　　　年度及び会計期間 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
| 　　月　　～　　　月 | 　　月　　～　　　月 | 　　月　　～　　　月 |
| 22 | 年　　度 | 平成25年度実績 | 平成26年度見込み | 平成27年度見込み |
| 発　行　事　業　に　関　す　る　支　出 |  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
| 合　　計 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 23 | 年　　度 | 平成25年度実績 | 平成26年度見込み | 平成27年度見込み |
| 発　行　事　業　に　関　す　る　収　入 |  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
|  | 千円 | 千円 | 千円 |
| 合　　計 | 千円 | 千円 | 千円 |

|  |
| --- |
| 24　調達に関するルールの整備状況 |
| □　既に調達に関するルールを定めている　　　（平成　　年　　月制定）□　調達に関するルールを定める予定である　　（平成　　年　　月頃制定予定） |
|  |
| 25　著作権ポリシーの整備状況 |
| □　既にジャーナルの公開についての著作権ポリシーを定めている　　　（平成　　年　　月制定）□　ジャーナルの公開についての著作権ポリシーを定める予定である　　（平成　　年　　月頃制定予定） |
|  |
| \*「その他の審査資料」の未提出理由（提出できないもの「□」を黒で塗りつぶすと共に、その理由を記入すること。） |
| □　　学会等会則 □　　投稿規程□　　最新年度決算書 □　　レフェリー制等の規程  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 26　会員数 | 人 | 27　編集委員の人数 | 人 |
| （うち海外の編集委員の人数） | 人 |
| 28　 学術的質の保証のための組織的な体制の整備について | □　レフェリー制を整備している　□　レフェリー制等はないが、他に審査に関する規程等がある。（規程の名称等　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 29　当該取組に係る学術刊行物・投稿論文の取扱状況 | 投稿件数 | 掲載件数 | 論文1件あたりのレフェリー数 | レフェリーの実人数に占める海外レフェリー数の割合 | 発行部数 |
| 件 | 件 |
| うち海外からの投稿件数 | うち海外からの掲載件数 | 人 | ％ | 部 |
| 件 | 件 |
| 30 当該取組に係る学刊行物の電子化の状況 | □　掲載論文等について電子化して公開し、一部オープンアクセス化している。（アクセス数　　　　件）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（PDFダウンロード数　　 件）□　掲載論文等について電子化して公開し、全てオープンアクセス化している。（アクセス数　　　　件）（PDFダウンロード数　　件）□　掲載論文等について電子化していない。 |
| 31　学術団体等の活動状況について |
| 学術団体等の活動状況について簡潔に記載して下さい。 |
|  |